

令和元年度 活動報告『スタートアップ部門』

団体名 ひょうたん寺子屋実行委員会

団体概要 様々な要因から不登校や素行不良になっている子ども達に対し、地域の有志とボランティアで学習支援をしていく。未来の地域を支える貴重な人材として成長してもらう事が目的。「ひょうたん寺子屋」として、夏休み・冬休みの宿題が出来る場を提供。宿題以外に受験対策等のワンステップ上の学習会も開催。

活動名 勉強ってホントは楽しい！ひょうたん寺子屋へ来て、まずは宿題・課題からやってみよう！

①目標の達成度

目標・目的としては以下の3点を念頭に活動してきました。

1. 学業が要因となる不登校、素行不良を無くす
2. 格差のない学習環境づくり
3. ひょうたん寺子屋出身者が『まちづくり活動』の担い手になる

1. に関しては、寺子屋へ来る子どもたちについては不登校や素行不良という話は耳にしません。寺子屋の活動がまだまだ広く周知されていないので、地域として見た際に目標達成ができていないのか、今後把握していかなければならないと思います。
2. について、家庭環境による学習環境の格差については無かったです。参加者全員が平等に学習・課題に取り組むことができました。
3. に関しては長期での目標であり、寺子屋活動を継続することで目標を達成していきたいと思っています。



②活動の成果

手探り状態からのスタートでしたが、徐々に活動の話しが広がり口コミでの参加者も集まりつつあるように感じます。噂を聞いた他の団体からの見学・取材等もあり、細やかながら地域の力になれているのかなという手ごたえがありました。

また、参加者の子どもたちだけでなく、ボランティア講師をお願いした大学生や高校生からも「楽しく教えることができる」「教える難しさを知った」「またやりたい」等の前向きな意見をもらい、教える側も成長できるのも収穫のひとつでした。



③目標達成のために努力したこと

参加者の子どもたち、ボランティア講師とも集めるのに苦労をしたり、反対に集まり過ぎてしまったりした日があったので、告知の方法についてはメンバーでよく話し合いました。公式ホームページや公式SNSアカウント等がなく、今年度は募集チラシを使ったメンバーによる口づてでの告知に留まったので、今後は情報の発信力を高める努力をしていきたいです。

また、子どもの集中力には限界があるので、適度に休息を挟んで集中力を持続させることには注意を払いました。



④活動で得た学び

きちんと環境を整えてあげれば子どもたちはしっかり学ぶことがよく分かりました。その環境を整えるのは地域や大人の役割だと思うので、これからもしっかりとフォローしていきたいです

また、②活動の成果でも述べましたが、当初は子どもたちの成長の手助けになればと思いスタートした事業でしたが、教える側の大学生・高校生も成長できると分かったのは想定外の収穫でした。こうした活動を通じて若い人たちが「まちづくり」や「地域貢献」というものに興味を持ってもらえることを願っています。

